

いの流水俳壇

「当季雑詠」

特選

孫が舞ひ爺が笛吹く里神楽

國田 貞子

〔評〕「神楽」とは神を祀るための行事で太古からあり、平安時代以後の様式が確立した最も代表的な神事芸能である。「里神楽」とは宮廷の神楽に対してそれ以外の神社で行われている神楽、また村里で行われる神楽などである。揚句は古くから山里の冬の大事な行事として受け継がれている神楽で孫が「歌舞」の舞を、爺（祖父）が「神楽笛」を吹く。家族で、いや地区民全員が協力し固い絆で伝統を守り後世に伝えている。孫と爺の出演で、ほのぼのとした心温まる作品となった。

秋日濃し点滴生きる力とも

津田 久美

〔評〕肺炎のため入院をしていた作者。高齢の肺炎は命取りにもなりかねない。重症の患者に必要不可欠な点滴治療は一日中続く。ポトポトと落ちるその一滴一滴に患者も、見守る家族も快復への願いを込める。秋の一日病床にありながら作者は点滴を「生きる力とも」と詠んだ。もしかするとこの一句も生きる力となり、俳句熱心な作者を早い快復へ向かわせたのではないだろうか。「おめでとつ」と申し上げたい。

来し方の禍福は言わずおでん酒

東谷 晴男

〔評〕「来し方の禍福は言わず」とは過ぎ去ったとき過去の禍や仕合わせなどは語らない。季語「おでん」は冬には欠かせない煮物。特に昭和生まれの者にとつては、懐かしい味の一つである。おでん酒と言えば、居酒屋又は屋台に立ち寄って味の沁み込んだおでんを湯気の中からつまみ、憂きこと全てを忘れ熱燗を飲む。冷えた体を温め酒となつて暖かく飲む。何とも幸せな夜の一時である。

入選

松林抜けてパノラマ紅葉谷

岡村 嘉夫

〔評〕松林をくぐり抜けて行くと眼前に「パノラマ」全景一望の下に収められる景色。そこには自然から人への贈り物のような錦織りなす紅葉谷。見渡す絶景に去り難い思いがする。

晚酌は今夜も一人でおでん食ぶ

森岡 照月

〔評〕晩酌を毎晩一人で飲む作者。自宅でおでんを肴に一人は淋しい。しかし晩酌が進むにつれ一日の疲れも取れ、明日への精気が湧いてくる。

新札に替へて孫へのお年玉

平野 洋子

〔評〕銀行で孫へのお年玉を新札に替えた。新年にふさわしくお年玉は新札であげたい。受け取る孫の笑顔を思い浮かべながら、待たるるお正月である。

一句抄

ひっそりと黄菊白菊野に染り 片岡 包女
 下駄音は母恋なりし菊日和 植田 紀子
 年の瀬や子供の様に日教読む 大川 節弥
 賑やかな園児の列や冬ぬくし 川村 博子
 冬めくや海に映えたる夕茜 島村かりん
 街中の煙の消えて落葉舞う 竹崎たかひろ
 仕合を一人占めたる日向ぼこ 小野川町子
 今日も又ちらし八枚十二月 田篤てい子
 一粒の新米拾ふ母の声 石原 静
 再会を約して帰る町小春 刈谷 志津

次題「当季雑詠」

締切／毎月1日

投句先 教育委員会事務局

いの町1700-1 ☎893-1922

いの町公の施設の指定管理者

平成28年第4回いの町議会定例会において、いの町公の施設の指定管理者が下記のとおり決定されました。

管理を行わせる施設		管理を行わせる団体及び指定期間	
名称	所在地	名称	指定期間
吾北育苗研修センター	上八川丙7603番地1	公益財団法人いの町農業公社	4月1日～平成34年3月31日
グリーン・パークほどの施設	清水上分973番地8他	いの町観光協会	
道の駅「633美の里」物産館	上八川甲1160番地2	有限会社むささびの里	
土佐和紙工芸村産地形成促進施設・農林漁業体験実習館（農産加工実習館）	鹿敷1226番地	コスモス農業協同組合	4月1日～平成32年3月31日

◆DV電話相談のご案内◆ DVは、配偶者や恋人に対する体や心への暴力のことです。

相談先	高知県女性相談支援センター （配偶者暴力相談支援センター）	こうち男女共同参画センター 「ソール」	警察
対象	DV被害に苦しんでいる方（男女不問）	女性、男性	DV・ストーカーに関する相談
電話番号 相談時間 など	☎ 833-0783 平日 9:00～22:00 土・日・祝日 9:00～20:00 （年末年始を除く。）	女性向け ☎ 873-9555 毎日 9:00～17:00 （※第2水曜日・祝日・年末年始を除く。） 男性向け（予約制） ☎ 873-9100 第1・3火曜日、第4水曜日 18:00～20:00	お近くの警察署又は 県警本部県民支援相談課 （#9110又は☎823-9110） 夜間・休日は、当直員対応 緊急の場合は、110番へ